

債権譲渡承諾依頼書

年 月 日

御中

(甲) 債権譲渡人

所在地
商号又は名称
代表者職氏名工事請負
契約書の
使用印

(乙) 債権譲受人

所在地
名称
代表者職氏名

実印

(担当者) 職・氏名

TEL

債権譲渡人(委託者、以下「甲」という。)は、江戸川区(以下「区」という。)との間で締結された下記工事請負契約(以下「工事請負契約」という。)に基づく下記譲渡対象債権を、地域建設業経営強化融資制度について(平成20年10月17日付け国総建第197号、国総建整第154号。以下「国土交通省通達」という。)に基づく地域建設業経営強化融資制度(以下「融資制度」という。)を利用するために、債権譲受人(受託者、以下「乙」という。)と締結した 年 月 日付けの債権譲渡契約証書に基づき、譲受人に譲渡することにつき、工事請負契約書第5条第1項ただし書に規定する承諾をいただきますよう依頼します。

乙においては、本譲渡債権を担保として、甲に対し当該工事の施工に必要な資金を融資するとともに、担保の余剰をもって保証事業会社が有する金融保証に係る求償債権を担保するものとします。

また、下記譲渡対象債権の支払につきましては、後日通知する振込口座にお振込みくださいますよう依頼します。

なお、工事請負契約上の請負者の債務は、甲に留保されていることを申し添えます。

記

1 譲渡対象債権

譲渡される甲の工事代金債権は、本件請負工事が完成した場合において工事請負契約書第26条第2項の検査に合格し、引き渡した既済部分に相応する請負代金額から既に支払を受けた前払金、中間前払金、部分払金及び工事請負契約(以下「請負契約」という。)により発生する区の請求権に基づく金額を控除した額の全額とします。ただし、請負契約が解除された場合においては、工事請負契約書第39条第2項の既済部分の検査に合格し、引き渡した既済部分に相応する請負代金額から既に支払を受けた前払金、中間前払金、部分払金及び請負契約により発生する違約金等の区の請求権に基づく金額を控除した額の全額とします。

| | |
|--------------------------|---------------------------|
| (1) 工事件名 | _____ |
| (2) 工事場所 | _____ |
| (3) 契約締結日 | _____年 月 日 |
| (4) 工期 | _____年 月 日から _____年 月 日まで |
| (5) 請負代金額 | 金 _____円〔申請日現在〕 |
| (6) 支払済前払金額 | 金 _____円 |
| (7) 支払済中間前払金額 及び部分払金額 | 金 _____円 |
| (8) 債権譲渡額 | 金 _____円〔申請日現在見込額〕 |

((8) = (5) - (6) - (7))

なお、契約変更により請負代金額に増減が生じた場合には、(5)及び(8)の金額は変更契約後の金

- 額とします。この場合、甲及び乙は、速やかに工事代金債権計算書を区に提出します。
- 2 甲は、上記工事の譲渡対象債権について、譲渡、差押、質権の設定その他の権利の移動又は設定等がなされていないことを申し添えます。
 - 3 甲及び乙は、譲渡対象債権について、他の第三者に譲渡し、若しくは質権を設定し、その他債権の帰属並びに行使を害する行為は行いません。
 - 4 甲の下請企業等の保護に関しては、甲が責任を持って行い、また、保証事業会社が有する金融保証に係る求償債権の担保に関しては、乙が責任を持って行い、区には一切ご迷惑をお掛けいたしません。
 - 5 乙においては、国土交通省通達等の融資制度に係る諸規定に従い、本譲渡債権を担保として、甲に対し当該工事の施工に必要な資金を融資するとともに、甲の下請企業等に対する適切な支払の確保を図るものとします。
 - 6 甲乙間の取引に関し必要な既済部分の確認は、甲及び乙が責任を持って厳正に行います。
 - 7 甲及び乙は、工事請負契約に基づき区が行う既済部分の査定結果については、一切異議を申し立てません。
 - 8 債権譲渡の承諾を得た後は、譲渡対象債権の請求は乙が行い、甲は一切の請求を行いません。
 - 9 上記のほか、甲は工事請負契約書の条項等を遵守します。
 - 10 本件に関する乙の連絡先及び担当者

所 属 _____

職・氏名 _____

電話番号 _____

第 号
年 月 日

(甲) _____ 御中

(乙) _____ 御中

債権譲渡承諾書

上記の譲渡対象債権の譲渡承諾依頼については、工事請負契約上有する一切の抗弁をもって乙に対抗できる旨及び下記事項について異議を留めて、工事請負契約書第5条第1項ただし書の規定により承諾します。

なお、本承諾により、工事請負契約に基づく甲の責任が一切軽減されるものではないことを申し添えます。

記

- 1 乙は、譲渡対象債権を第三者に譲渡し、又はこれに質権を設定し、その他債権の帰属並びに行使を害すべきことをしてはならない。
- 2 発注者が支払う請負代金額は発注者の検査結果のみに基づいて決定される。
- 3 発注者は、債権譲渡後も、甲との協議のみにより、工期の変更、契約金額の変更その他契約内容の変更を行うことがあり、この場合、乙は発注者に対して異議を申立てないものとし、当該契約の変更により、譲渡対象債権の内容に影響が及ぶ場合には、もっぱら甲と乙との間において解決されなければならない。
- 4 甲及び乙は、上記債権譲渡承諾依頼書記載の事項を遵守すること。

発 注 者

印

| | |
|--------|--|
| 確定日付印欄 | |
|--------|--|

工事履行報告書

| | | | |
|---------|-----------------------|----------|-------|
| 工 事 件 名 | | | |
| 工 期 | 年 月 日 | ~ | 年 月 日 |
| 日 付 | 年 月 日 (月分) | | |
| 月 別 | 予定工程 (%) ()は工程変更後 | 実施工程 (%) | 備 考 |
| 年 | | 差 () | |
| 月 | | 差 () | |
| 月 | | 差 () | |
| 月 | | 差 () | |
| 月 | | 差 () | |
| 月 | | 差 () | |
| 月 | | 差 () | |
| 月 | | 差 () | |
| (記事欄) | | | |

(備考) 必要に応じて適宜項目を加除して使用するものとする。

委任状

年 月 日

御中

所在地

商号又は名称

代表者職氏名

印

1 工事件名 _____

2 請負代金額 金 _____ 円

私は、所在地

商号又は名称

代表者職氏名

を代理人と定め、上記工事の請負契約に係る工事代金債権の債権譲渡承諾依頼書の提出に関する権限を委任します。

債権譲渡人が委任者の場合、印は使用印も可とする。

債権譲渡人がJVの場合は代表構成員の名義で行うものとする。

第 号
年 月 日

債権譲渡不承諾通知書

(債権譲渡人) 御中
(債権譲受人) 御中

(発注者) 印

年 月 日付けで依頼のあった下記1に記載する工事に係る債権譲渡承諾依頼については、下記2に記載する理由により承諾できませんので、その旨通知します。

記

1 債権譲渡承諾依頼のあった工事

- (1) 契約番号 _____
(2) 工事件名 _____
(3) 工事場所 _____
(4) 契約締結日 _____年 月 日

2 承諾しない理由

工事出来高確認協力申出書

年 月 日

御中

所在地
名称
代表者職氏名

実印

年 月 日付け 第 号にて債権譲渡を承諾された下記工事について、
同工事の出来高を確認する必要があります。

つきましては、同工事の出来高確認を行うために、工事現場への立入りについて協力いただきます
ようお願いいたします。

記

- 1 工 事 件 名 _____
- 2 工 事 場 所 _____
- 3 請 負 者 _____
- 4 現場立入り希望日時 _____ 年 月 日 時 分 から 時 分まで
- 5 現場立入り予定者氏名

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |

- 6 連 絡 先 担当者職・氏名 _____
- 電 話 _____

融資実行報告書

平成 年 月 日

江戸川区長 殿

(甲) 債権譲渡人 住所
借入人 氏名

工事請負
契約書の
使用印

(乙) 債権譲受人 住所
貸付人 氏名

実 印

甲が貴殿に対して有する下記債権の譲渡につき 年 月 日付けでご承諾いただきましたが、甲乙間において当該譲渡債権を担保とする金銭消費貸借契約を 年 月 日付けで締結し、当該契約に基づき乙は甲に対して、金銭を貸し渡し、甲はこれを借り受けて受け取りましたので、甲乙連署のうえ報告します。下記工事請負代金につきまして、今後は乙の下記振込口座にお振込下さい。

なお、本件融資に際し、甲は乙に当該工事における下請人等への支払状況及び支払計画に関する書面を提出し、乙はこれを確認しました。

記

[譲渡債権の表示]

1. 工事名

2. 工事場所

3. 工期 自 年 月 日
至 年 月 日

| | | | |
|-------------|---|---|-----------------------------|
| 4. (1)請負代金額 | 金 | 円 | ただし、契約変更により増減が生じた場合はその金額による |
| - (2)前払金額 | 金 | 円 | |
| - (3)中間前払金額 | | | |
| 及び部分払金額 | 金 | 円 | |
| (4)債権譲渡額 | 金 | 円 | (年 月 日現在見込額) |

ただし、契約変更により増減が生じた場合はその金額による

[承諾番号]

[振込口座]

1. 振込希望金融機関名
2. 預金の種別、口座番号
3. 口座名義（ふりがな）

工事代金債権計算書（契約変更用）

年 月 日

御中

債権譲渡人
所在地
商号又は名称
代表者職氏名

工事請負
契約書の
使用印

債権譲受人
所在地
名称
代表者職氏名

実印

（担当者）職・氏名

T E L

年 月 日付けで協議を受け、承諾した下記1に記載する工事の契約変更により、工事代金債権が下記5のとおり変更されたので提出します。

記

1 工 事 件 名 _____

2 契 約 締 結 日 _____ 年 月 日

3 債権譲渡承諾日 _____ 年 月 日

4 契約変更承諾日 _____ 年 月 日

5 工事代金債権

(1) 当初請負代金額 金 _____ 円

(2) 支払済前払金額 金 _____ 円

(3) 支払済中間前払金額
及び部分払金額 金 _____ 円

(4) 当初債権譲渡額 金 _____ 円

(5) 契 約 変 更 額 金 _____ 円（減額の場合は、表示とする）

(6) 債 権 譲 渡 額 金 _____ 円（ _____ 年 月 日現在見込額）

（6）＝（1）－（2）－（3）＋（5）

工事代金債権計算書（契約解除用）

年 月 日

御中

債権譲渡人
所在地
商号又は名称
代表者職氏名

工事請負
契約書の
使用印

債権譲受人
所在地
名称
代表者職氏名

実印

（担当者）職・氏名

T E L

下記1の工事に関し、年 月 日付け 第 号に基づく解除により、工事代金債権が下記5のとおり変更されたので提出します。

記

1 工 事 件 名 _____

2 契 約 締 結 日 _____ 年 月 日

3 債権譲渡承諾日 _____ 年 月 日

4 契 約 解 除 日 _____ 年 月 日

5 工事代金債権

(1) 当初請負代金額（契約解除日現在） 金 _____ 円

(2) 支払済前払金額（債権譲渡人） 金 _____ 円

(3) 支払済中間前払金額及び部分払金額
（債権譲渡人） 金 _____ 円

(4) 出来高（ % ） 金 _____ 円

(5) 契約解除違約金 金 _____ 円

（ (5) = { (1) - (4) } × 10% ）

(6) 債権譲渡額 金 _____ 円

（ (6) = (4) - (2) - (3) - (5) ）

工事代金請求書

年 月 日

御中

所在地
(債権譲受人) 名称
代表者職氏名

実印

年 月 日付けの債権譲渡承諾書に係る工事代金債権について下記のとおり
請求します。

記

1 請求金額

金 _____ 円

ただし、 _____ の代金として

(内訳)

| | | |
|----------------------|---------|---|
| (1) 請負金額 | 金 _____ | 円 |
| (2) 支払済前払金額 | 金 _____ | 円 |
| (3) 支払済中間前払金額及び部分払金額 | 金 _____ | 円 |
| (4) 履行遅滞の場合における損害金等 | 金 _____ | 円 |
| (5) 今回請求金額 | 金 _____ | 円 |

(5) = (1) - (2) - (3) - (4)

2 債権譲渡の承諾を受けた工事請負契約の内容

(1) 承諾番号 _____
(2) 工事件名 _____
(3) 請負者(債権譲渡人) _____